

スロベニア情勢(2012年7月:月報)

在スロベニア日本国大使館

2012年8月

1. 内政

- ヴィラント国民議会議長が、次期大統領選挙を11月11日に実施する旨布告した。
- 与党4政党により提出された上院廃止案が国民議会にて否決された。
- 財政規律の憲法記載を巡り、国民議会での採決を9月以降に延期する決定が下された。

2. 経済

- 新リュブリャナ銀行(NLB)に対し、増資が実施された。
- 国家資産を管理する政府系ファンドの一元化と、銀行の不良債権処理を目的とするスロベニア国家資産ホールディング設置を巡り、与野党が対立。設置法案の国民議会での採決は9月以降に延期となった。
- 欧州復興開発銀行(EBRD)は、スロベニアの経済観測を下方修正した。

3. 外交

- 旧リュブリャナ銀行(LB)外貨預金処理に関し、スロベニア・クロアチアの合同調査団を任命することで両国外相が合意するも、エリヤヴェツ外相は当該問題解決をスロベニアのクロアチア EU 加盟承認の前提条件にする旨発言した。
- NATO 事務総長、イタリア大統領、国連事務総長等がスロベニアを訪問。

1. 内政

I 大統領選挙を巡る動き

(1) 候補者の動き

5日、社会民主党(SD)は、次期大統領選挙に出馬を宣言したパホル前首相を、SD公認候補として支持することを正式に表明した。一方、大統領選出馬の意向を示していたイエリンチッチ国民党(SNS: 非議会政党)党首は11日、出馬表明を撤回した。

現時点で出馬を表明しているのは、トゥルク現大統領(無所属)、パホル前首相(SD)、ズヴェル欧州議会議員(民主党: SDS)をはじめとする5名である。

(2) 大統領選挙日程の確定

25日、ヴィラント国民議会議長は、次期大統領選挙を11月11日に実施する旨布告した。今後の予定としては、まず8月20日に選挙公示となり、立候補に必要な署名集めやキャンペーン資金集め等、公式な選挙関連活動が解禁になる。また10月11日から11月9日の約1ヶ月間は公式キャンペーン

期間となる。11月11日の第1回投票で過半数獲得候補がいなかった場合、獲得票上位2者による決選投票が実施される。

II その他

(1) 上院廃止案の否決

4日、国民議会憲法委員会は政権与党の SDS、市民のリスト(DL)、年金者党(DeSUS)、新スロベニア(NSi)によって提出された国民評議会(上院)廃止案を否決した。同案可決には3分の2以上の議員の支持が必要であるが、与党の人民党(SLS)と最大野党の「積極的なスロベニア(PS)」が反対した。その後、18日に開かれた本会議における採決でも同案は3分の2以上の支持を得ることができず、否決された。なおスロベニアでは、一度本会議で否決された案件は、同じ任期中に再び審議されることはない。



(2) 財政規律の憲法記載を巡る対立

17日、財政規律(いわゆる黄金律)の憲法への記載を巡り、与野党間での合意形成が難航する中、ヤンシャ首相は20日の臨時国会で、同案の採決に政府への信任投票を組み合わせる旨示唆した。財政規律の憲法記載に関しては、3分の2以上の絶対過半数の支持が必要であり、同案と政府への信任投票を組み合わせただけの場合、同じく3分の2以上の

支持を得られなければ不信任となる。政権の維持が難しく、解散総選挙の可能性も浮上してきたことを受け、連立与党のメンバーは協議し、ヤンシャ首相の説得を試みた。最終的に、財政規律の憲法記載に関しては、休み明けの9月の本会議まで採決を延期することで合意し、当面の政治危機を脱した。

2. 経済

(1) 新リュブリャナ銀行(NLB)の増資問題

2日、政府が転換社債によるハイブリッドローン320百万ユーロを新リュブリャナ銀行(NLB)へ投入し、同時に政府系ファンドの年金機構(KAD)と補償基金(SOD)が NLB 新規発行株を61百万ユーロ購入し、NLB に対し総額381百万ユーロの増資を実施した。この結果、欧州銀行監督機構(EBA)とスロベニア中央銀行が定めた自己資本比率9%が一時的に実現した。今後政府は1年かけて NLB の長期的救済策を模索する。

による党首会合が開かれ、同法案の採決を秋の本会議まで延期し、その間に与野党で妥協案を模索することで合意した。

一方で24日、経済協力開発機構(OECD)は、ホールディング設立法案につき、内容面の問題点を指摘し政府に注意勧告した。OECD は、ホールディングは政府機関ではなく、あくまでも国営会社であることを強調し、同法案内容では、国営会社への政治介入を防止する措置が講じられていないと指摘した。今回のOECDの勧告を受け、政府は31日、修正法案を作成し、国家資産ホールディングによる銀行の不良債権引き取りの項目を排除し、同ホールディングを通じて銀行セクターを再建しようとする試みを断念した。

(2) スロベニア国家資産ホールディングの設立

5日、シュシュテルシッチ財務大臣は、国家資産を管理する政府系ファンドを一元化して新たに国営ホールディング(スロベニア国家資産ホールディング)を設立し、そこで政府管理下にある銀行の不良債権を一手に引き受ける案を発表し、同ホールディング設立法案を提出した。統合される政府系ファンドには、国家資産管理機関(AUKN)や年金機構(KAD)も含まれており、その運用を巡り、与野党をはじめ、専門家、労働組合、年金受給者等より批判が相次いだ。

(3) EBRD によるスロベニア経済観測

25日、欧州復興開発銀行(EBRD)は、スロベニアの経済観測を下方修正し、今年度の GDP を2%減、2013年GDPを1.4%減とする見通しを発表した。EBRDは、スロベニアの景気回復は、銀行セクターの改善次第であるとし、国営銀行であるNLB増資に際し、政府が外部からの投資を集められなかった点を問題視した。

16日、各界からの批判に関わらず、国民議会財務委員会は、ホールディング設立法案について、一括審議とし20日の臨時国会で採決することを決定した。これを受け、労働組合や最大与党「積極的なスロベニア」党首のヤンコヴィッチ・リュブリャナ市長が同法案の国会審議停止を求める国民投票の発議を示唆する事態に発展した。19日、全議会政党

4. 外交

(1) クロアチアとの旧リュブリャナ銀行(LB)外貨預金処理問題

6日、旧ユーゴ時代にクロアチアの預金者が旧リュブリャナ銀行(LB)に預けていた外貨預金の返還問題を巡り、エリヤヴェツ外相はプシッチ・クロアチア外相と会談し、両国が合同調査団を任命し、当該問題につき調査することで合意した。これを受け、スロベニア政府は12日、中央銀行元総裁のアルハル氏を、クロアチア政府は19日、中央銀行元副総裁のロギッチ氏をそれぞれ合同調査メンバーに任命した。

23日、EU 外務理事会出席のため訪問中のブリュッセルでエリヤヴェツ外相はプシッチ外相と再度会談を行った。会談後、エリヤヴェツ外相は記者団に対して、LB 外貨預金処理問題の解決はスロベニアがクロアチア EU 加盟を承認する前提条件である旨発言した。クロアチアメディアは、エリヤヴェツ外相の発言について、クロアチア EU 加盟をブロックするスロベニアの新たな脅しであると報じたが、一方でプシッチ外相は、全てのEU加盟国が遅延なくクロアチアの加盟承認をすることを期待している旨述べ、クロアチアのEU加盟とLB外貨預金処理は別の問題であると強調した。

(2) NATO事務総長の訪問

5日、ラスムセンNATO事務総長はスロベニアを訪問しヤンシャ首相と会談を行った。ヤンシャ首相は、スロベニアが2014年末のNATO撤退までアフガニスタンへの部隊派遣を継続する意図を表明した。また、西バルカン諸国のNATO加盟は当該地域の安全と安定に資するものであり、地域全体の経済発展の条件である旨指摘した上で、NATOと西バルカン諸国との協力関係は良好であると評価した。

(3) イタリア大統領の訪問



10日及び11日、ナポリターノ・イタリア大統領がスロベニアを公式訪問し、トゥルク大統領、ヤンシャ首相、ヴィラント国民議会議長、ヤンコヴィッチ・リュブリャナ市長と会談するとともに、スロベニア国民議会で演説を行った。10日の首脳会談では、スロベニア在住イタリア系少数民族及びイタリア在住スロベニア系少数民族への財政支援の継続につき合意し、その他、スロベニアが反対するトリエステ湾ガスターミナル建設問題、EU金融・財政問題等につき協議した。国民議会における演説では、国際的な金融危機及び民族主義への対応においてEUがさらに統合することの重要性を強調した。また、ナポリターノ大統領に同行したテルツィ伊外相は、エリヤヴェツ外相と個別に会談した。

(4) 国連事務総長の訪問

19日及び20日、潘国連事務総長が旧ユーゴ諸国歴訪の一環としてスロベニアを公式訪問し、トゥルク大統領、ヤンシャ首相、ヴィラント国民議会議長と会談するとともに、国民議会で演説を行った。ヤンシャ首相との会談では、シリア情勢、バルカン情勢、国連改革等につき協議。シリア情勢について、両者は、19日に安保理がシリア決議案を採択できなかったことへの遺憾の意を表明するとともに、ヤンシャ首相はアナン特使の和平案へのスロベニアの支持を表明した。またバルカン情勢に関し、ヤンシャ首相は、潘事務総長がボスニア・ヘルツェゴビナのスレブレニツァを国連事務総長として今回初めて訪問することを支持した上で、ジェノサイド防止条約改正へのスロベニアの支持を表明した。潘事務総長は、スロベニア訪問後、クロアチア、モンテネグロ、セルビア、コソボ、マケドニア、ボスニア・ヘルツェゴビナを訪問した。

